

Game Report

開催場所：大津町総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 女子準決勝

試合期日：2018 年 5 月 19 日(土)

CC：川井 剛

試合時間：13：20～

U1：西崎 拓哉

U2：佐久間 飛人

日本経済大学	○ 79	23	—1st—	20	● 70	福岡教育大学
		16	—2nd—	25		
		20	—3rd—	16		
		20	—4th—	9		

第1ピリオド

日経大#77清本のバスケットカウントで試合開始。序盤から日経大は速い展開の中からの合わせのシュートで得点を伸ばしていく。福教大は、#12森川を起点としたドライブや3Pシュート、#16塚本のリバウンドで得点を重ねていく。残り1分、福教大のオールコートディフェンスにより差を縮める。しかし、日経大#35岡田、#5後藤がボールをキープして23-20の日経大のリードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオド

序盤、#00マレムの中を起点として攻める日経大。福教大は、全員リバウンドやルーズボールを最後まで追い、粘り強くついていく。残り4分を切ったところで、福教大#11定司、#10山下のスティールで流れを引き寄せ、福教大が逆転。日経大は、外のシュートがなかなか決まらない。そのリードを保ったまま39-45の福教大のリードで第2ピリオドを終える。

第3ピリオド

前半同様、速い展開の中で攻めていく日経大。#33江口の3Pシュートで逆転をする。福教大も負けずに、ディフェンスリバウンドからの速い速攻で点差を開かせない。両チームともドライブからの合わせのプレーが多くみられた。福教大は#12森川の3Pシュートが決まる。59-61の福教大のリードで第3ピリオドを終える。

第4ピリオド

開始から、両チームとも厳しいディフェンスにより、お互いに得点を伸ばすことができない。福教大は#11定司を中心にボールを回し、#16塚本への合わせのプレーがあるものの、シュートが外れてしまう。残り5分、日経大#5後藤の3Pシュートが決まり、流れを引き寄せた日経大。#35岡田のワンマン速攻もきまり得点を重ねる。福教大は、リバウンドなどは取れるものの、得点に結びつけることができない。日経大はそのままリードをキープし、粘り強くバスケットをして、79-70で日経大が勝利した。